

# 公共施設マネジメント特別委員会 次第

令和8年5月14日  
午後1時開議  
301会議室

## ○協議事項

- 1 公立保育園の在り方について

## ○その他

## 公立保育園の在り方について

### 1 加賀市公立保育園再編基本計画の見直しの趣旨

- 現行計画は、コロナ禍・能登半島地震によるこどもたちの心身の影響に配慮し、計画を2年間延長し、この期間で計画を見直し
  - ・ 計画期間：平成28年度 - 令和6年度 → 令和8年度
  - ・ 休園基準：入園見込み児童数が10人未満 → 画一的な対応とらない
- 現行計画の期間中における、急激な少子化の進行をはじめとした保育を取り巻く情勢が大きく変化
  - ・ 市全体での保育資源が過剰供給
  - ・ 保育指針にある「集団の中での経験」の保障が困難
- 計画期間の延長に伴い、公立保育園施設の老朽化が進行
  - ・ 建築後50年以上の施設が複数
  - ・ 再編を見据えて大規模改修など必要な改修が未実施施設あり

### 2 これまでの休園施設と再編計画のスケジュール

R8.4月 12園 実績値

↓

校区	No	保育園	建築等	H28.4	R3.4	実績値	R7.4
錦城	1	大聖寺	S63	4	2	未	1
	2	錦城	S62				
	3	三木	H31.4閉園				
	4	三谷	H30.4閉園				
橋立	5	橋立	S48	1	1	1	
片山津	6	金明	R3.4閉園	3	1 (スワトン)	未	1
	7	湖北	R3.4閉園				
	8	潮津	R3.4閉園				
	新	スワトン	R3開園	-			
東和	9	作見	S50	2	2	未	2
	10	動橋	S50				
山代	11	加陽	H07	5	4	未	1
	12	山代	R2.4閉園				
	13	庄	S52				
	14	勅使	S50				
	15	東谷口	H10				
山中	16	山中中央	S50	2	2	未	1
	17	河南	S51				
合計				17	12		7

### 3 現状(令和8年4月1日時点)

- 園数:公立保育園 12園、法人立保育園 8園、法人立認定こども園 6園
- 園児数:公立保育園 407人、法人立保育園 481人、法人立認定こども園 666人

(保育園・認定こども園・幼稚園一覧表(令和8年4月1日現在))

区分	施設名	定員	入園児童数							計	充足率
			0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳以上児			
保育園	公立	大聖寺保育園	60人	0人	0人	0人	3人	3人	4人	10人	16.7%
		錦城保育園	50人	0人	0人	1人	2人	6人	3人	12人	24.0%
		庄保育園	60人	0人	0人	2人	2人	3人	6人	13人	21.7%
		勅使保育園	40人	0人	0人	1人	1人	1人	3人	6人	15.0%
		東谷口保育園	30人	0人	1人	1人	6人	1人	4人	13人	43.3%
		作見保育園	70人	0人	0人	0人	5人	2人	2人	9人	12.9%
		スワトン保育園	100人	2人	13人	14人	16人	13人	13人	71人	71.0%
		動橋保育園	165人	4人	16人	23人	27人	29人	32人	131人	79.4%
		橋立保育園	95人	2人	4人	4人	10人	7人	4人	31人	32.6%
		加陽保育園	80人	3人	8人	13人	14人	13人	12人	63人	78.8%
		山中中央保育園	65人	0人	5人	5人	0人	7人	6人	23人	35.4%
		河南保育園	65人	0人	3人	2人	4人	9人	7人	25人	38.5%
	法人立	やくおうえん	55人	3人	7人	11人	7人	13人	6人	47人	85.5%
		新生保育園	90人	4人	10人	13人	19人	20人	19人	85人	94.4%
		清和保育園	80人	0人	13人	6人	15人	8人	16人	58人	72.5%
		開陽保育園	100人	6人	12人	15人	17人	18人	21人	89人	89.0%
		聖光保育園	100人	3人	9人	17人	19人	24人	18人	90人	90.0%
		第2やくおうえん	20人	0人	1人	1人	2人	3人	2人	9人	45.0%
認定こども園	法人立	山中ふたば保育園	70人	4人	4人	8人	10人	8人	18人	52人	74.3%
		山中保育園	60人	0人	9人	13人	5人	14人	10人	51人	85.0%
		キッズプラト いなみえん	165人	4人	14人	22人	23人	36人	27人	126人	76.4%
		清心こども園	110人	4人	18人	17人	22人	14人	23人	98人	89.1%
		かが幼稚園	50人	0	5人	8人	10人	14人	5人	42人	84.0%
		わかたけこども園	130人	5人	23人	28人	28人	29人	15人	128人	98.5%
保育園	公立	松が丘こども園	165人	6人	27人	24人	25人	31人	33人	146人	88.5%
		たちばなこども園	145人	5人	24人	24人	25人	22人	26人	126人	86.9%
		合計	1,455人	31人	115人	150人	184人	202人	206人	888人	61.0%
認定こども園	法人立	合計	765人	24人	111人	123人	133人	146人	129人	666人	87.1%
		合計	2,220人	55人	226人	273人	317人	348人	335人	1,554人	70.0%

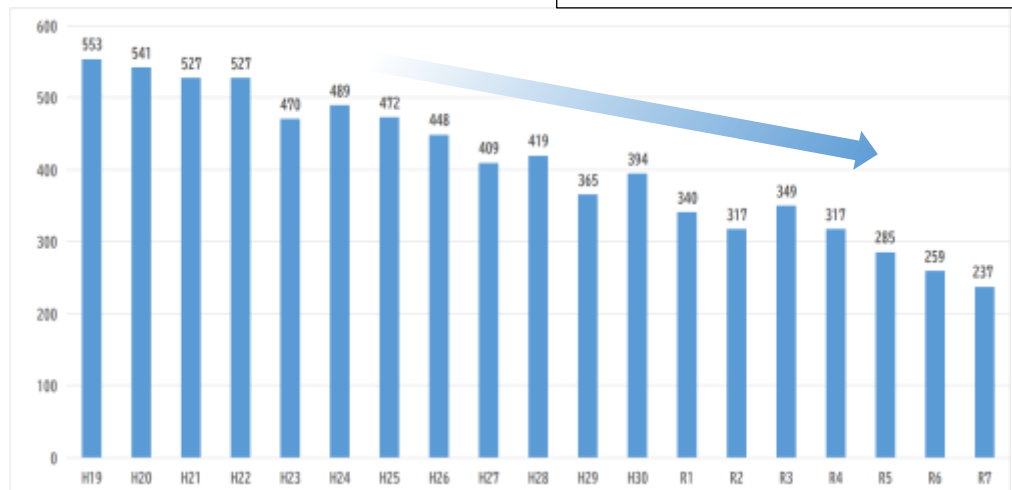
## ■ 保育園・認定こども園一覧

区分	施設名	最長保育時間	受入年齢	休日保育	誰通	備考	区分	施設名	最長保育時間	受入年齢
法人立保育園 (保育施設・認定こども園)	やくおうえん	7:00~18:30 (7:00~18:30)	2か月後	○(自園)	○		公立保育園	大聖寺保育園	7:30~18:30 (7:30~12:30)	2歳
	第2やくおうえん	7:00~22:00 (7:00~22:00)	2か月後	○(自園)		夜間 保育園		錦城保育園	7:30~18:30 (7:30~12:30)	2歳
	新生保育園	7:00~19:00 (7:00~19:00)	2か月後		○			庄保育園	7:30~18:30 (7:30~12:30)	2歳
	清和保育園	7:00~19:00 (7:00~19:00)	2か月後		○	学童 保育		勅使保育園	7:30~18:30 (7:30~12:30)	2歳
	開陽保育園	7:00~19:00 (7:00~19:00)	2か月後		○			東谷口保育園	7:30~18:30 (7:30~12:30)	2歳
	聖光保育園	7:00~19:00 (7:00~19:00)	2か月後		○	学童 保育		作見保育園	7:30~18:30 (7:30~12:30)	2歳
	山中保育園	7:00~21:00 (7:00~21:00)	2か月後	○	○			スワトン保育園	7:30~19:00 (7:30~12:30)	4か月
	山中ふたば保育園	7:00~19:00 (7:00~19:00)	2か月後			学童 保育		動橋保育園	7:30~19:00 (7:30~12:30)	4か月
	キッズランド いなみえん	7:00~19:00 (7:00~19:00)	2か月後	○(自園)	○	ひろば 学童保育		橋立保育園	7:30~18:30 (7:30~12:30)	4か月
	清心こども園	7:00~19:00 (7:00~19:00)	2か月後					加陽保育園	7:30~19:00 (7:30~12:30)	4か月
	かが幼稚園	7:30~18:30 (7:30~18:30)	1歳		○			山中中央保育園	7:30~18:30 (7:30~12:30)	1歳
	わかたけこども園	7:00~20:00 (7:00~20:00)	2か月後	○(自園)				河南保育園	7:30~18:30 (7:30~12:30)	1歳
	松が丘こども園	7:00~18:30 (7:00~18:30)	2か月後		○					
	たちばなこども園	7:00~18:30 (7:00~18:30)	2か月後		○					

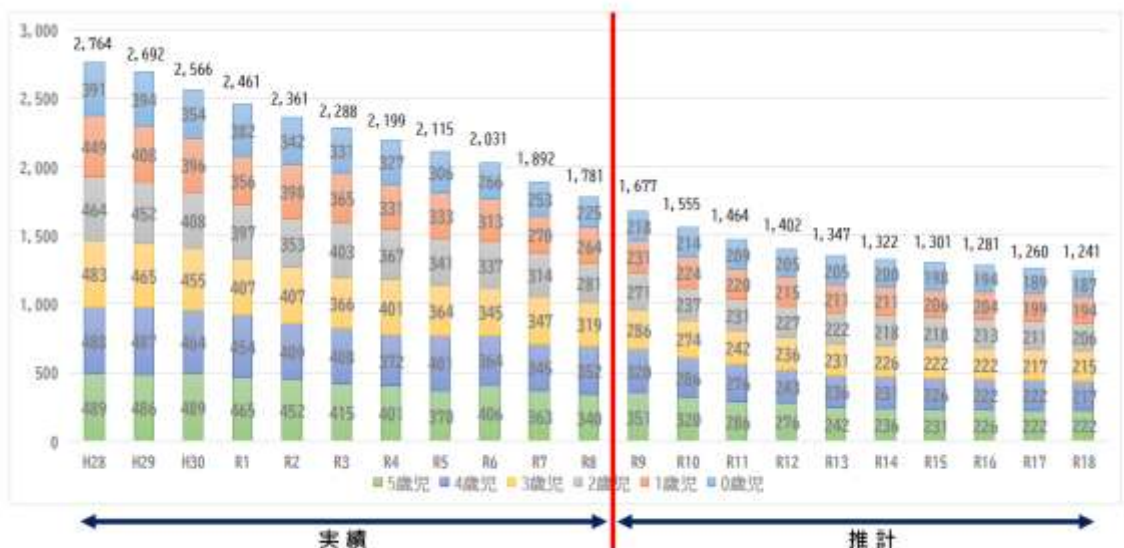
※最長保育時間( ):土曜保育時間  
 ※休日保育(自園):自園に通所児のみ受入  
 ※誰通:こども誰でも通園制度

## 4 人口動態

### ■ 出生数の推移 (1月~12月集計)

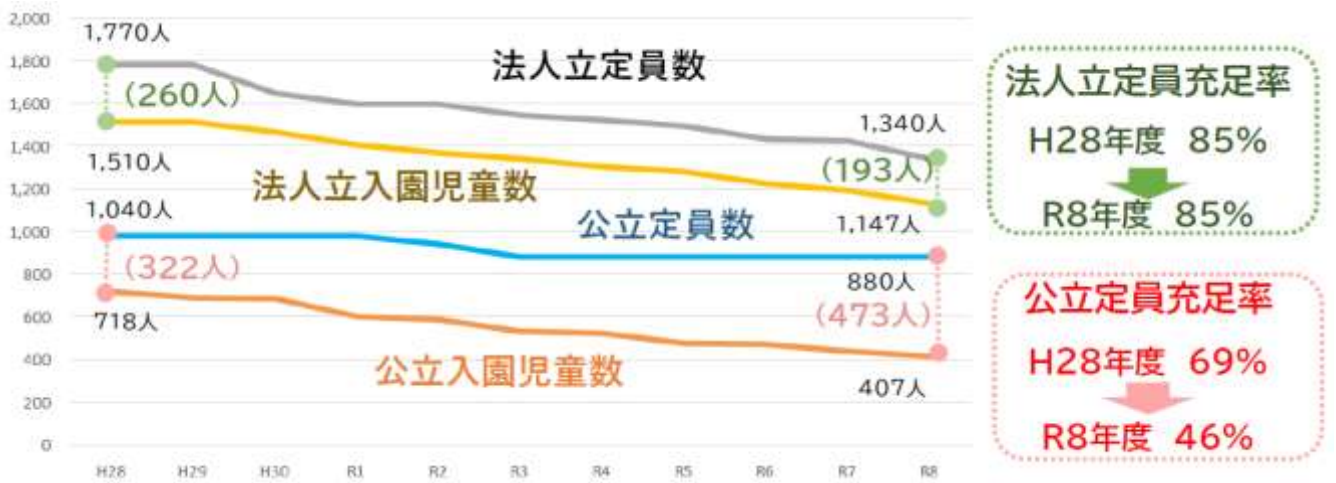


### ■ 未就学児人口推移



コーホート変化率法により算出；同年または同期間の過去における実績人口の動態から「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計する方法

## ■ 保育園の定員数と入園数



## ■ 法人立との推移

実績の割合から入園児童数算出(R8の割合を基準として算出)

○ R18 法人立 2/3 としたとき…(R8 法人 全体の74%)

	R4	R5	R6	R7	R8	R18
公立	504	478	471	434	407	281
法人	1,305	1,278	1,246	1,193	1,147	799
合計	1,809	1,756	1,717	1,627	1,554	1,080
就学児前児童	2,199	2,115	2,031	1,892	1,781	1,241

○ R18 法人立 1,000 人としたとき…

	R4	R5	R6	R7	R8	R18
公立	504	478	471	434	407	80
法人	1,305	1,278	1,246	1,193	1,147	1,000
合計	1,809	1,756	1,717	1,627	1,554	1,080
就学児前児童	2,199	2,115	2,031	1,892	1,781	1,241

## 5 個の成長と集団としての活動の充実

以下の保育所保育指針から、同年代の集団による活動の充実を行うための適正数等の設定が求められる。

### 【3歳以上児の保育に関するねらい及び内容・(1) 基本的事項】

この時期においては、運動機能の発達により、基本的な動作が一通りできるようになるとともに、基本的な生活習慣もほぼ自立できるようになる。理解する語彙数が急激に増加し、知的興味や関心も高まっていく。仲間と遊び、仲間の中の一人という自覚が生じ、集団的な遊びや協同的な活動も見られるようになる。これらの発達の特徴を踏まえて、この時期の保育においては、**個の成長と集団としての活動の充実**が図られるようにしなければならない。

(保育所保育指針・第2章保育の内容より)

## 6 保育施設の管理・運営費の実績(公立保育園) (単位:千円)

■ 平成 26 年度(2014)・・・公立 17 園(園児数 766 人)

平均コスト:1,159 千円

	最小規模園	最大規模園
児童数	11 人	154 人
1 人当たりのコスト	2,161	858

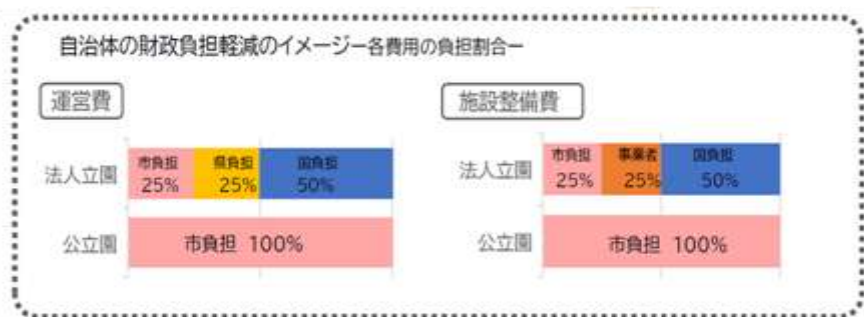
■ 令和 6 年度(2024)・・・公立12園(園児数 501 人)

平均コスト:1,837 千円

	最小規模園	最大規模園
児童数	12人	153人
1 人当たりのコスト	3,058	1,280

※人件費、施設関連費(光熱費、施設保守・点検費、建物保険料など)、管理・運営費(嘱託医報酬、事務費、

電話・ネット・コドモン使用料など)、教材・備品費(施設備品、給食備品など)、修繕・改修費(照明修繕、外壁修繕など)



## 7 保育施設の建築年数と状況

地区	保育園名	建築年度	築年数 (R8.4)	耐震性能	構造			施設の状況		災害時リスク
					木造	鉄骨造	RC造	空調	防水	
錦城	大聖寺	S63	38	○	—	—	○	△	△	
	錦城	S61	40	○	—	—	○	△	▲	有
山代	庄	S52	49	○	—	—	○	▲	△	
	勅使	S50	51	×	—	○	—	▲	△	有
	東谷口	H10	28	○	○	—	—	△	○	
	加陽	H07	31	○	—	—	○	○	○	
片山津	スワトン	R3	5	○	—	—	○	○	○	
東和	作見	S50	51	○	—	—	○	○	△	
	動橋	S49	52	○	—	—	○	○	○	有
橋立	橋立	S48	53	○	—	—	○	△	△	
山中	山中中央	S49	52	○	—	—	○	○	○	
	河南	S51	50	○	—	—	○	▲	▲	

凡例

【施設の状況】

○:有効

△:要更新

▲:更新時期超過

## 8 公立保育園保護者アンケートの回答結果について(速報値)

### ■ アンケート概要

【調査期間】 令和8年4月10日～4月20日

【調査対象者】 保育園等に在園している児童の保護者

【回収率】 約75%(810/約1,080)

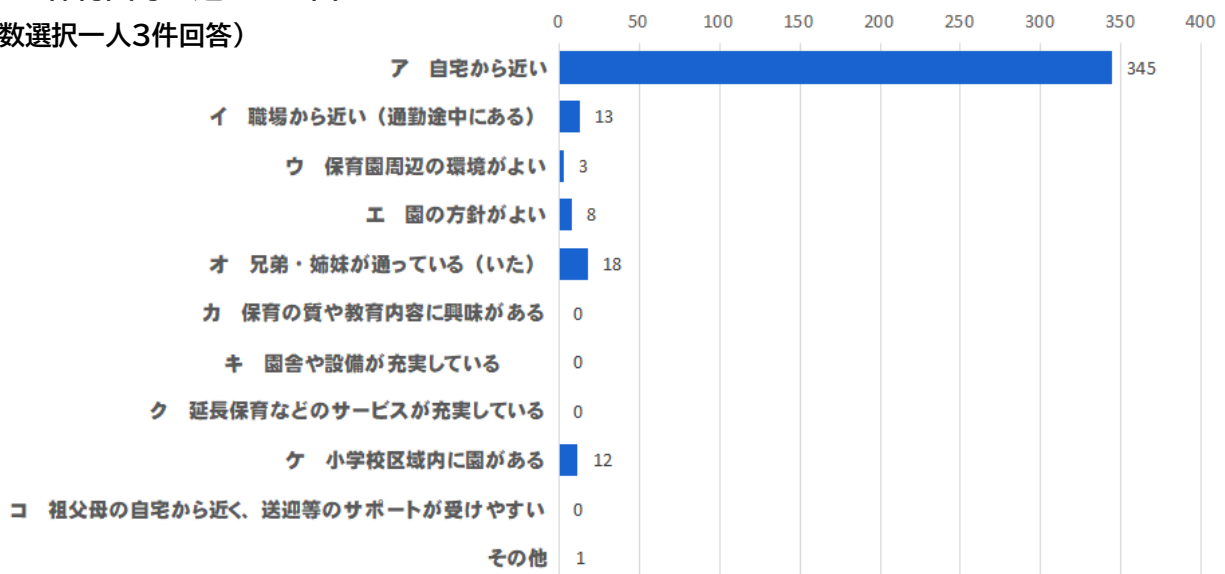
市内公立保育園232件/市内法人立保育園等578件

【調査内容】

基本属性/利用状況/保育環境/特別保育/公立園の在り方(公立園保護者のみ)

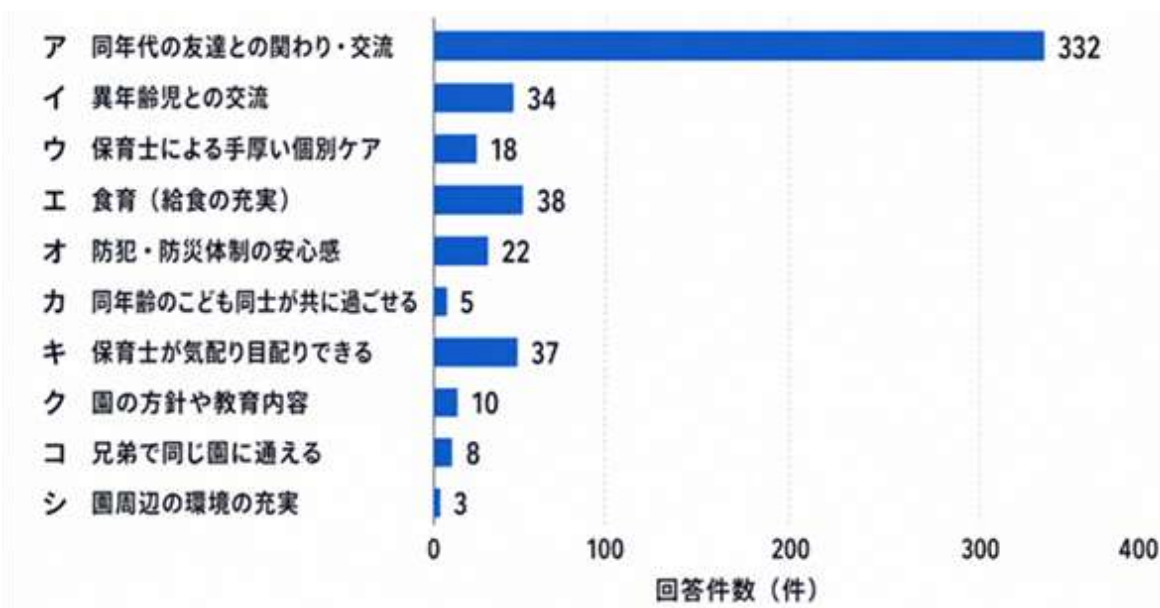
### 現在の保育園等を選んだ理由

(複数選択一人3件回答)

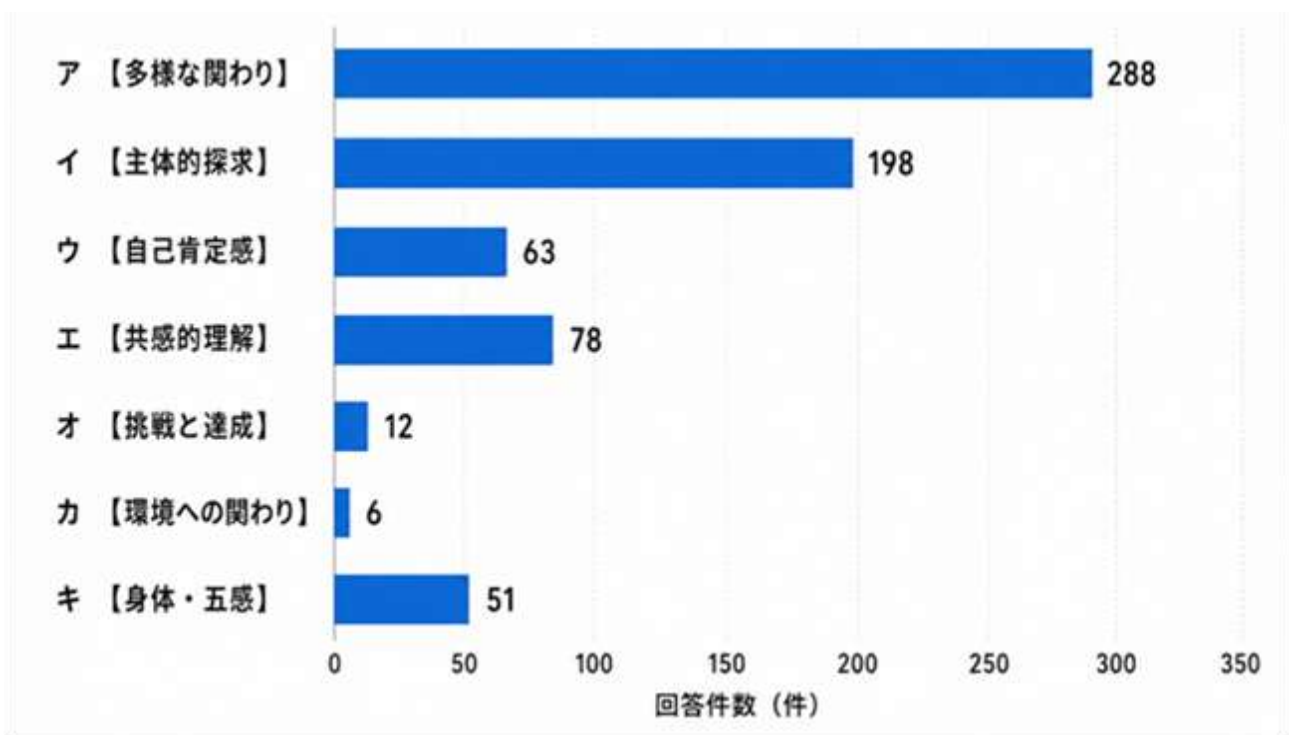


### お子さまがこれからの保育園生活をおくる上で、特に重視されること

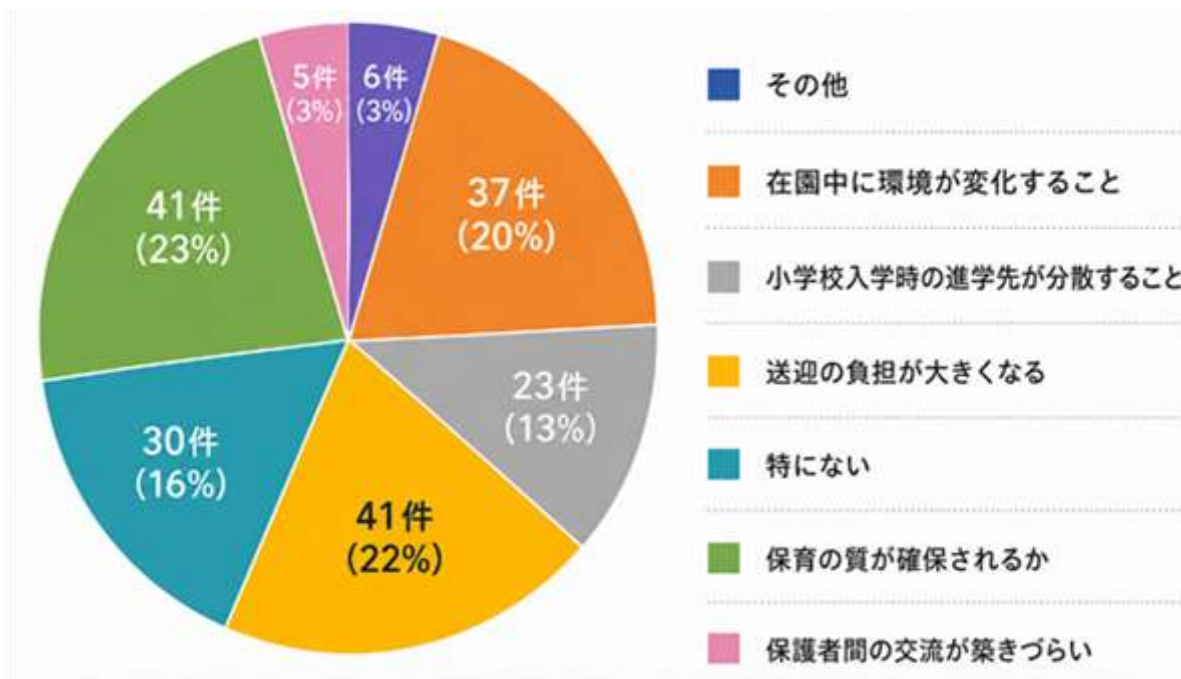
(複数選択一人3件回答)



乳幼児期の「学び」において、お子さまにとって特に重要だと思うこと  
 (複数選択一人3件回答)



公立保育園の統合について、不安に思うこと



## 9 再編基本計画の実施方針(改定内容)・・・資料3-令和7年度第3回健康福祉審議会こども分科会

	現行	改定方針	改定理由
(1)	公立保育園の1クラスあたりの標準規模20人程度を目指す	再考	・保育の質の向上と子どもたち一人ひとりに寄り添ったきめ細かな支援を目指すため ・保護者ニーズの多様化への対応のため ・従来の「1クラス20人程度」という一律の基準を見直し、今後は質の高い保育を提供できる配置が必要ではないか。
(2)	再編は、児童数30人未満の小規模園を優先して行うこととし、最長で3年間を目途に統合する。	再考	4園以外は児童数が30人未満であること、急激な少子化のため3年間の目途を待たず、対応が必要ではないか。
(3)	児童数30人以上、80人未満の標準未満園は、暫定的に継続することとし、児童数の推移を見ながら再編時期の検討を行う。	継続又は再考	(1)を踏まえ、100人を超えている定員の園においては、現行の方針でいくのか、その他の方針が新たに必要ではないか。
(4)	法人立保育園が乳児保育や特別保育を担ってきた歴史的背景や法人立保育園のキャパシティ、地域の児童数推計等を踏まえ、民間活力を効果的に活用しながら、法人立保育園・公立保育園の協働のもと、再編を実施する。	継続	—
(5)	再編は中学校区を基本とするが、再編後の公立保育園は地域の子育て支援の拠点施設と位置づける。	再考	・これまでの中学校区を基本とした設定から、生活圏域や保護者のニーズ等踏まえた設定が必要ではないか。 ・既存の地域資源の状況と公共施設マネジメントの視点も踏まえた跡地のあり方の検討が必要ではないか。
(6)		新規	【施設の老朽化及び頻発化する自然災害への対応】 施設の老朽化に伴う維持コストの増大と安全性低下、および近年の災害の激甚化・頻発化に対応が必要ではないか。
(7)		新規	【保育士の確保と定着(人材確保)】 質の高い保育士を安定的に確保し、子どもたちに継続的で手厚い支援が必要ではないか。

今後は、保護者アンケートにおけるご意見を重視した上で、今後実施する保育者ヒアリングおよび法人立保育園との協議内容を踏まえ、健康福祉審議会こども分科会の審議を経て、以下の項目について分析し、方向性を定めます。

- ・地域ごとの人口動態等を分析し、保育ニーズに必要な保育施設の適正配置
- ・「こどもの探究活動の深化」「学びの質の向上」の保障と保育環境や保育の質の確保
- ・建物の老朽化や土砂災害警戒区域状況、保育士等の確保、法人立保育園との役割分担等

## 10 再編計画スケジュール(予定)

- 4月 保護者アンケート(公立・法人立)
- 5月 法人立との協議(以後2回程度)
- 6月 第1回 健康福祉審議会 こども分科会(骨子案)  
(基礎データ、課題と対応(方向性)、保育者ヒアリング・保護者アンケート結果、国の動向等)
- 7月 第2回 健康福祉審議会 こども分科会(素案)
- 8月 第3回 健康福祉審議会 こども分科会(最終案)
- 9月 「加賀市公立保育園再編基本計画」答申・公表
- 10月 令和9年度入園申込